

2018年度 環境活動レポート

(2018年2月1日～2019年1月31日)



発行日 2019年3月31日



〒990-2226 山形市西越25番地
TEL 023-624-1711 FAX 023-632-0681
<http://www.isono-body.co.jp>





◆ 環境経営理念

私たち、いそのボデーは全人類が直面している地球温暖化問題を私たち自身の問題と認識し、多様なトラックボデーの開発設計・製造・メンテナンスに係る事業活動を通じ、長年培ってきた技術力を駆使し、環境面においても高機能・高付加価値のトラックボデーを開発製作して参ります。

また、エコアクション21環境経営システムの運用により、事業活動に伴う環境負荷の削減や環境汚染のリスク低減を図って参ります。

◆ 環境行動指針

1. 環境関連の法律等を遵守します。
2. 省エネルギー活動を推進し、電力、化石燃料の消費に伴う環境負荷の削減に努めます。
3. 水使用量、廃棄物の削減、リサイクルの推進に努めます。
4. 有害化学物質の使用量削減と適正管理に努めます。
5. 3S(整理・整頓・清掃)活動を推進し、作業効率の向上を図ります。
6. チョコ案(改善提案)制度の推進によって、環境改善活動の活性化を図っていきます。
7. ふるさと山形の環境保全活動に積極的に貢献していきます。

2017年2月1日

株式会社 いそのボデー

代表取締役 磯野 栄治

2.組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

- 株式会社 いそのボデー
- 代表取締役社長 磯野 栄治

2-2. 所在地

- 本社・工場 〒990-2226 山形市西越25番地

2-3 .環境管理責任者及担当者連絡先

- 環境管理責任者:設計部長 石井 崇
- 連絡担当者 :総務部長 本間 久美
- 連絡先・TEL023-624-1711 FAX023-632-0681
- Email:kumi.h@isono-body.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1964年(昭和39年)2月

2-5. 資本金

- 3,630万円

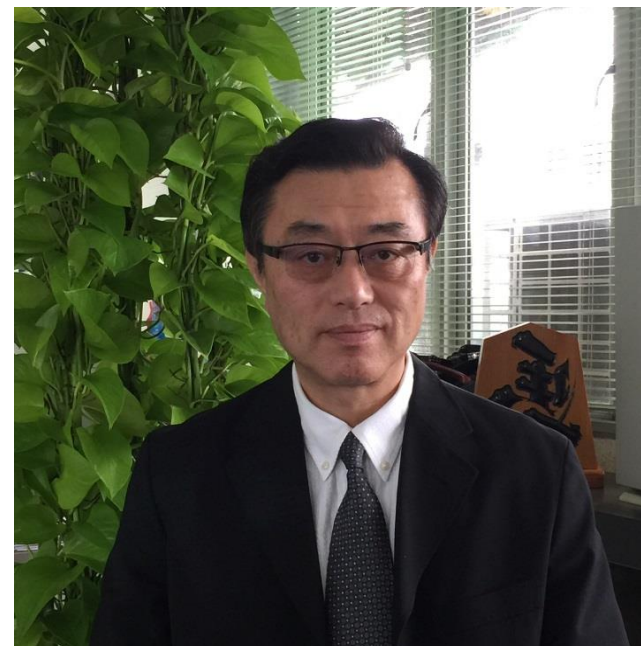
2-6. 事業活動の内容

- トラックボデーの製作
- 車検代行
- 自動車整備
- 自動車保険代行

2-7. 認証登録・範囲

- 本社

2-8.事業の規模



事業年度	2016年度	2017年度	2018年度
事業規模の指標	(2016.2～2017.1)	(2017.2～2018.1)	(2018.2～2019.1)
売上高(百万円)	1,758	1,906	1,937
従業員数(人)	97	100	98
整備車両台数(台)	3,981	3,948	3,701

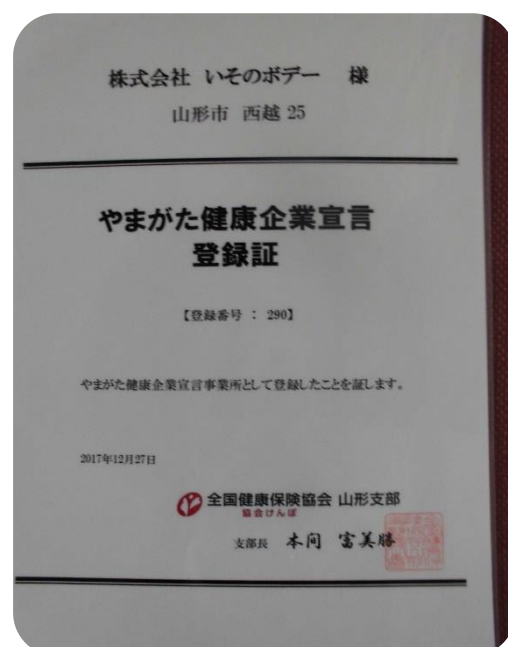
注)売上高、整備車両台数の実績は、当社会計年度(当月2月～翌年1月まで)による

いそのボデー環境トピックス 2018

《環境経営と共に健康経営2018に参画》

「やまがた健康企業宣言事業所」登録 「やまがたいきいき子育て応援企業 実践ゴールド企業」に認定 さらに中小規模法人部門「健康優良法人2019」に認定されました！

健康診断受診率100%継続。健康経営向けて社員の健康増進に向けた取組みを積極的に行っています。



「やまがた健康企業宣言 登録証」



山形いきいき子育て応援企業
「実践(ゴールド)企業」に認定証



中小規模法人部門
「健康優良法人2019」認定証

環境コミュニケーション

■会社見学者の受入

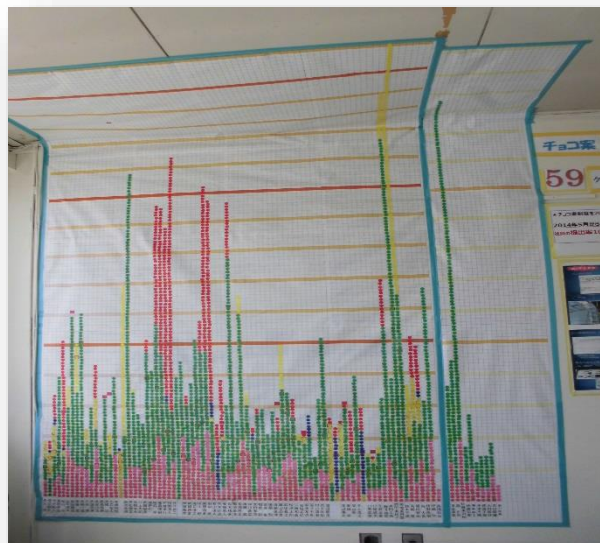


事務所及び工場内の3S活動の様子をご覧いただきました。

※当社のトラックボデー製造及び3S活動・チョコ案制度等の会社見学会は随時受入れています。

◆ 全員参加の「チョコ案(改善提案)」活動

社員一人が月1件以上の提出100%を2014年5月から47ヶ月連続達成しています！
これまで述べ1万5千件以上のチョコ案が出されています。
また、年度末に年間表彰を行い、2018年は下記のチョコ案が社長賞を受賞しました。



天井まで伸びたグラフ

【年度別個人のチョコ案グラフ】
☆2018年度は緑色

★毎月3S委員会で月間賞を投票で選びます。その中から年間の表彰に値するチョコ案を選定します。

◆チョコ案 2018社長賞！

《工場で使用するコンプレッサーの清掃が狭いところまで行き届かず、汚れやほこりが残るので気になっていました。そこでタオル生地の手袋で清掃することにしたところ、隅々まできれいになりすっきりしました》
というチョコ案です。

設備を大切にするという社員の心構えが、社長の心をつかみ社長賞を受賞しました！

社長賞

☆全社を挙げて隅々まで
清掃活動の展開！

9月月間賞

チョコ案 こんな改善できました

部長	課長	課長(部長)	部長
18.9.27	18.9.27	18.9.27	18.9.27
本間	藤野	藤野	藤野

提出日 30年 9月 20日

承認No. 279-P

部署	機務係	氏名	佐藤良博
分類	治具 作業効率 表示 美化 安全 経費削減 その他		
改善前	コンプレッサーのこまいところが掃除が出来なかった。		
改善後	タオル型の手袋で掃除することにしたのでこまいところまで掃除できるようになった。		
写真			
コメント		年間コスト削減 (一歩=1円 一歩=1.6円 一歩=100円)	

◆チョコ案 2018環境保全賞！

《産業廃棄物コンテナが満タンになったらコンテナの交換依頼を総務部に連絡をする》というチョコ案
緑のボードを赤に変更することによって、手配済であることが誰にでもわかる！

社内で二重の連絡がなくなりました！

4

事務所に 「キティルーム誕生！」



照明はもちろん **L・E・D**

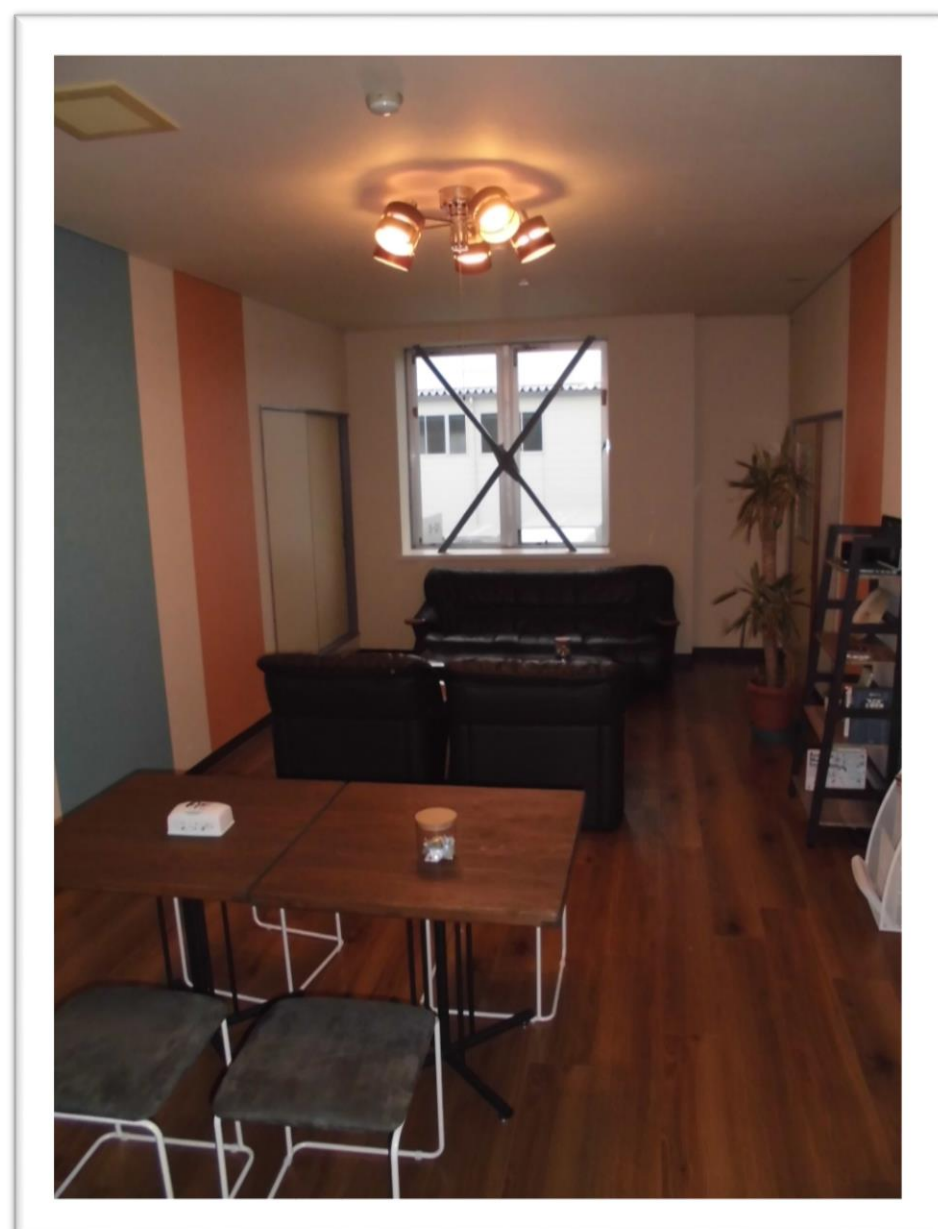


「キティルーム室長」

社員は誰でもいつでも 利用できるフリールーム完成



コーヒーを飲みながら、ワイワイガヤガヤ！！

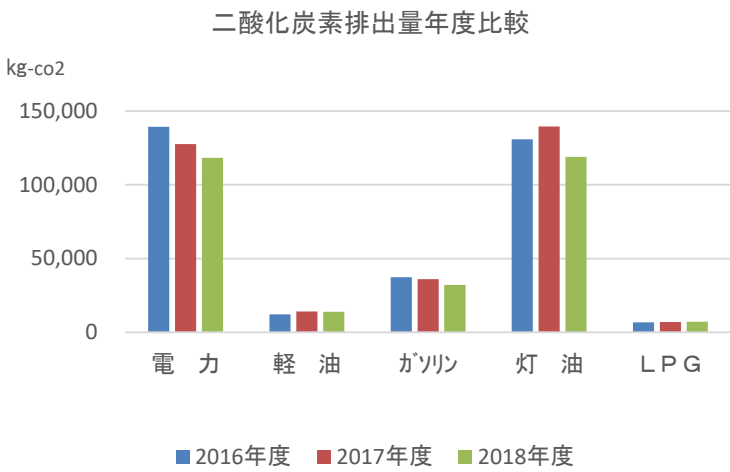


3.環境目標とその実績

3-1.環境負荷の現状と推移(環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

エネルギー資質	2016年度	2017年度	2018年度
電力	139,432	127,545	118,227
軽油	12,157	14,082	13,954
ガソリン	37,358	35,911	32,160
灯油	130,890	139,602	119,002
LPG	6,594	6,978	7,078
CO2排出計	326,431	324,118	271,528



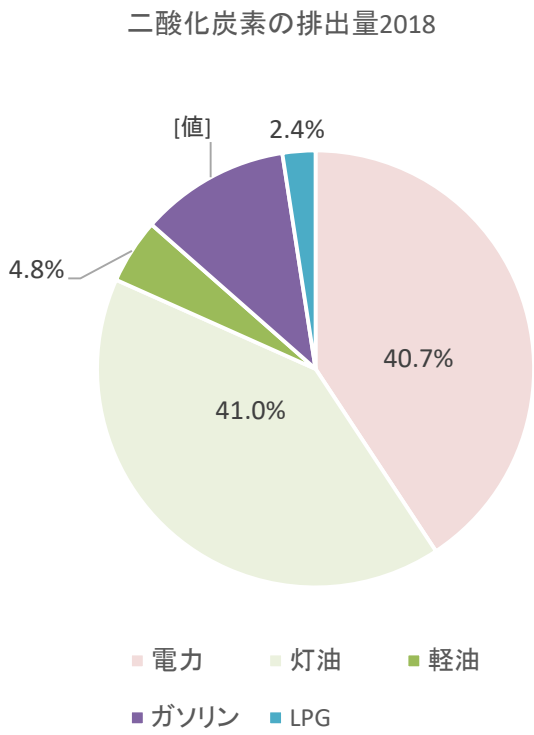
1) 当社における2018年度の二酸化炭素排出量は合計271tとなっており一般家庭(年間5.0tJCCCA: 全国地域温暖化防止活動推進センター)の54軒分の排出量に相当していました。また、2013年度(基準年度351t)と比較すると80t減少しました。一般家庭16軒分の減少となりました。

2) 2018年度に排出される二酸化炭素の59%は化石燃料に使用に伴うもので、その中でも灯油が41%を占めており電力と灯油がほぼ同じ排出量となりました。

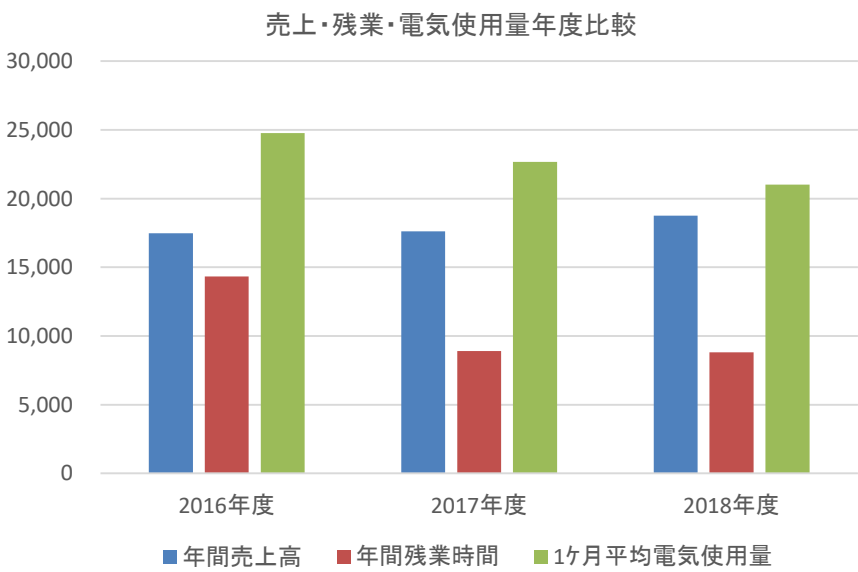
3) 灯油は、冬場の車体塗装作業時において、塗料の乾燥用に使用するほか工場や事務所の暖房用にも使用しています。今年の冬は積雪が少なく暖冬であったことも灯油の使用量の削減につながったと考えられます。

4) 灯油以外の化石燃料では軽油14t、ガソリンが32tとなっています。軽油は冬の除雪作業のために除雪車用にも使用しています。

5) 電力の消費による二酸化炭素排出量は、118tで41%の割合になっています。2017年度と比較すると7.3%削減されました。残業の削減に取り組んでいる結果につながっていると考えられます。



※電力の二酸化炭素換算係数は平成20年東北電力の数値(0.469kg-CO₂/kWh)を使用しました。



☆2016年～3年間の売上高と残業時間及び1ヶ月平均電気使用量を比較してみました。

残業時間の削減及び電気使用量の削減と反対に売上高が好調であることは、経営環境に結びついていると言えます。

■ 産業廃棄物排出量

一般廃棄物は紙類(廃コピー用紙、段ボール類)がほとんどで、すべて再生利用されています。有価物である鉄くず、アルミくずを除いた産業廃棄物では、木くず27.7t、廃プラが20.3t、汚泥13.9t、廃油が3.2t、金属くずが1.9t、鉄くずが100.7tとなっています。廃プラは焼却処理または埋立処分、廃油、廃シンナーは焼却処分されています。再生利用しているのは、木くず、有価物(鉄くず、アルミくず)などで、リサイクル率は74.5%となっています。



■ 総排水量(水使用量)

年間の水の使用量は2004 m³で、生活用水の他、洗車、高圧シャワー試験などで水を使用しています。

■ 化学物質使用量(購入量)

主に塗料の中に含まれるPRTR対象物質について、その購入量と含有率からトルエン並びにキシレン等の購入量を集計しました。最も多いのは、トルエンで2.4tキシレンは1.4tとなっています。塗装作業で使用されることから排出先は大気となっています。



3-2 環境目標項目の選定と目標設定の考え方

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、並びに環境方針との整合性を図り、次の7項目(山形エコアクション21対応項目を含む)について、環境目標(単年度目標&5年間の中期目標)を設定しました。

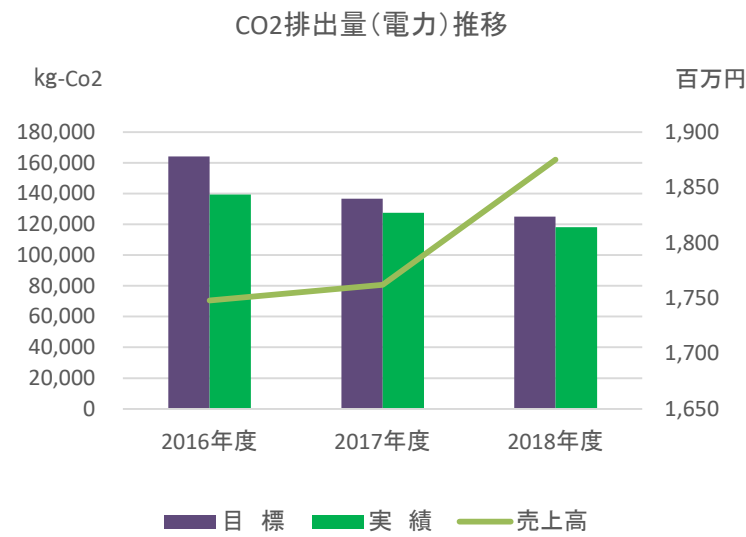
環境目標項目		単年度目標	中期目標
		2018年度目標 (2018.2※1～2019.1)	2013年度～2018年度(5年間)
二酸化炭素排出量	電力使用量	2017年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
	化石燃料使用量	2017年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す。
	社有車の燃費	2017年度比1%削減	2018年度までに2016年度実績値の2%向上を目指す。
廃棄物排出量	一般廃棄物	2017年度比2%削減	2018年度までに一般廃棄物量を2013年度実績の10%削減を目指す
	産業廃棄物	2017年度比2%削減 リサイクル率60%以上	2018年度までに産業廃棄物量を2013年度実績の10%削減とする。またリサイクル率を60%以上とする
総排水量 (水使用量)		2017年度比1%の削減	2018年度までに2013年度実績の5%の削減とする
化学物質使用量	(PRTR対象物質)	2017年度比2%削減	2018年度までに2013年度実績値の10%削減を目指す
	(特化則対象物質)	特化則対応品を確認し適用判断	2018年度内に主要19品目のうち、12品目の切替え適用
製品・サービスの環境負荷削減に関する目標		社員チョコ案提出率100%	全社員チョコ案月1件以上提出を継続する。環境面で優れたチョコ案を「エコで賞」として毎年表彰する。
		バンボデー限定Javiraゴールドラベル取得	・車体製品部材のリサイクル可能率95% ・車体製品部材の環境負荷物質フリー宣言
山形エコアクション21対応目標		環境NPOの支援・協力	
		年2回 (5月・10月)会社周辺の清掃活動を実施する	

3-3.環境目標達成状況

◆ 二酸化炭素排出量(電力使用)

(単位 kg-CO₂)

2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
127,545	124,994	118,227	7.3%	



【目標】2017年度比 2%削減

● 取組の評価

全社の照明をLED化してから3年経過しました。LED化と同時に残業時間の削減を全社を挙げて取組んだ結果、残業時間も前年度より7.3%削減につながりました。さらに削減できるよう継続していきます。

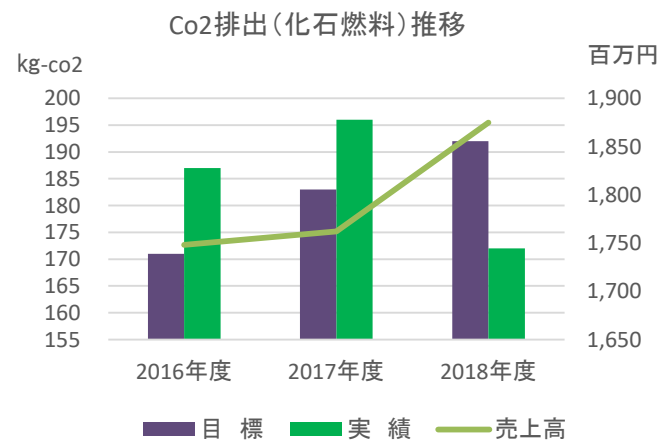


《ホワイトボードで工程の進捗管理》

◆ 二酸化炭素排出量(化石燃料)

(単位 kg-CO₂)

2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
196	192	172	12%	



【目標】2017年度比 2%削減

● 取組の評価

二酸化炭素排出量(化石燃料)は今年度は目標達成となりました。毎年行われるエコドライブ研修会などにより社有車に使用するガソリンが削減できたことや降雪量が少なかったことで除雪車に使用する軽油量の減少によるものと考えられます。

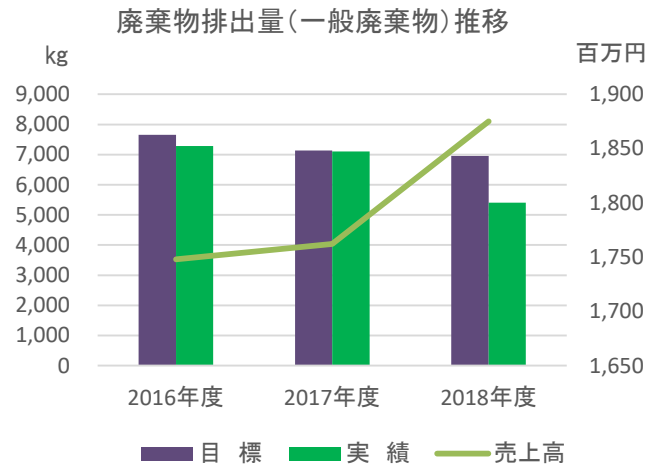


◆ 温室効果ガスの排出量がこのまま増え続ければ、地球の自然環境は大きく損なわれることになりかねません。それは、地球が長い時間をかけて育んできた環境を、人類がわずかな期間で壊してしまうということであり、何としても防がなくてはならないことです。多くの野生生物や未来の人々への影響をできる限り抑えるためには、「今すぐ」温室効果ガスを減らす取り組みを始めることが必要なのです。

◆ 廃棄物排出量（一般廃棄物）

（単位 kg-CO₂）

2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
7,100	6,958	5,410	23%	◎



【目標】2017年度比 2%削減

● 取組の評価

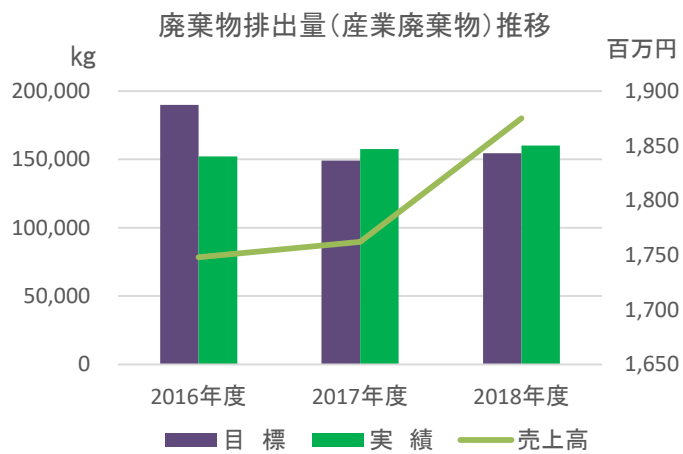
2018年度は目標を1.5t削減し達成することができました。一般廃棄物排出量は主に梱包用のダンボールになります。また事務所で使用するコピー用紙等の裏紙使用や不要な紙類は専用の箱を設置し100%リサイクルに回しています。今後は工場内にも設置していきます。



◆ 廃棄物排出量（産業廃棄物）

（単位 kg-CO₂）

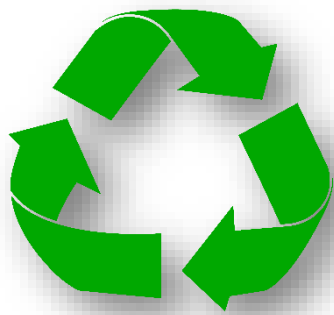
2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
157,568	154,416	160,016	△1.5%	×



【目標】2017年度比 2%削減

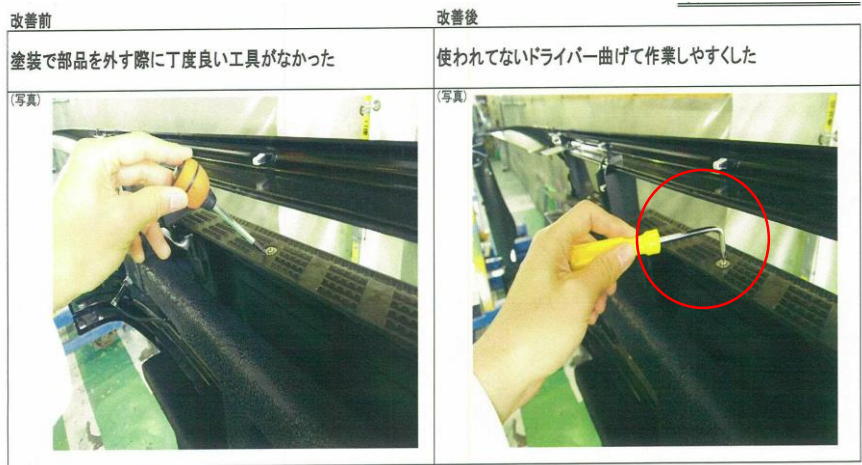
● 取組の評価

2018年度は目標を5,600kg増加しました。昨年は生産高の増加により廃棄物も増加したと考えられます。リサイクル率は74.5%と昨年より下がってしまいましたが、目標の65%を達成することができました。木くずが多く、すべてリサイクルされています。今後もしっかりと分別し維持していきます。



※「チョコ案」より

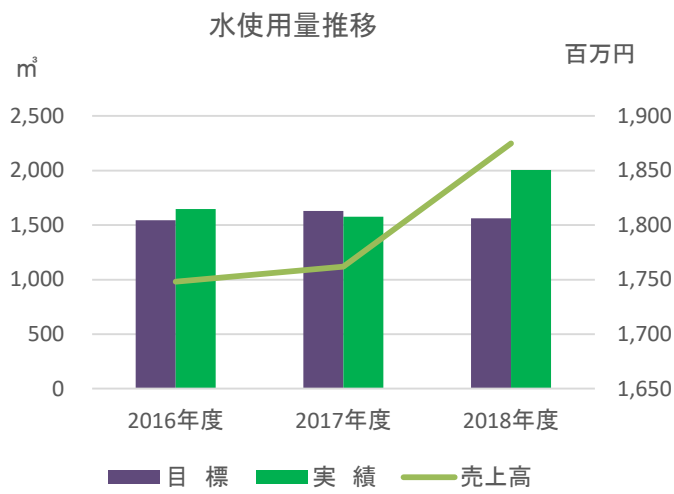
産業廃棄物	リサイクル率
2016年	81.6%
2017年	77.5%
2018年	74.5%



◆ 水使用量

(単位 m³)

2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
1,578	1,562	2,004	△26%	



【目標】2017年度比 1%削減

● 取組の評価

2018年度は目標を442m³増加しました。原因は除雪作業中に水道管を破損してしまい水洩れが発生したものでより増加となってしまいました。生活用水の他に製造前後の新車と整備車の洗車に使用されます。製造後のトラックボデーには水漏れがないかを自家製のシャワーテスト機を利用します。これは雨水及び水道水を使用します。テスト機のエア混合率を高め、水の使用量を抑えるようにしております。

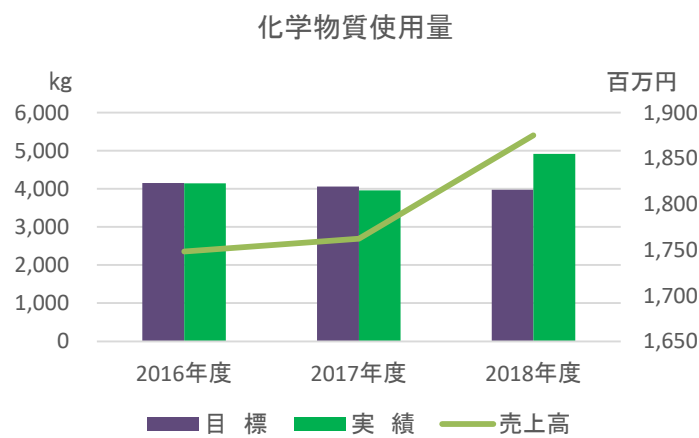


【オリジナル「シャワーテスト機」】

◆ 化学物質使用量

(単位 kg)

2017年度	2018年度			評価
実績	目標	実績	増減率	
3,959	3,880	4,915	△24%	



【目標】2017年度比 2%削減

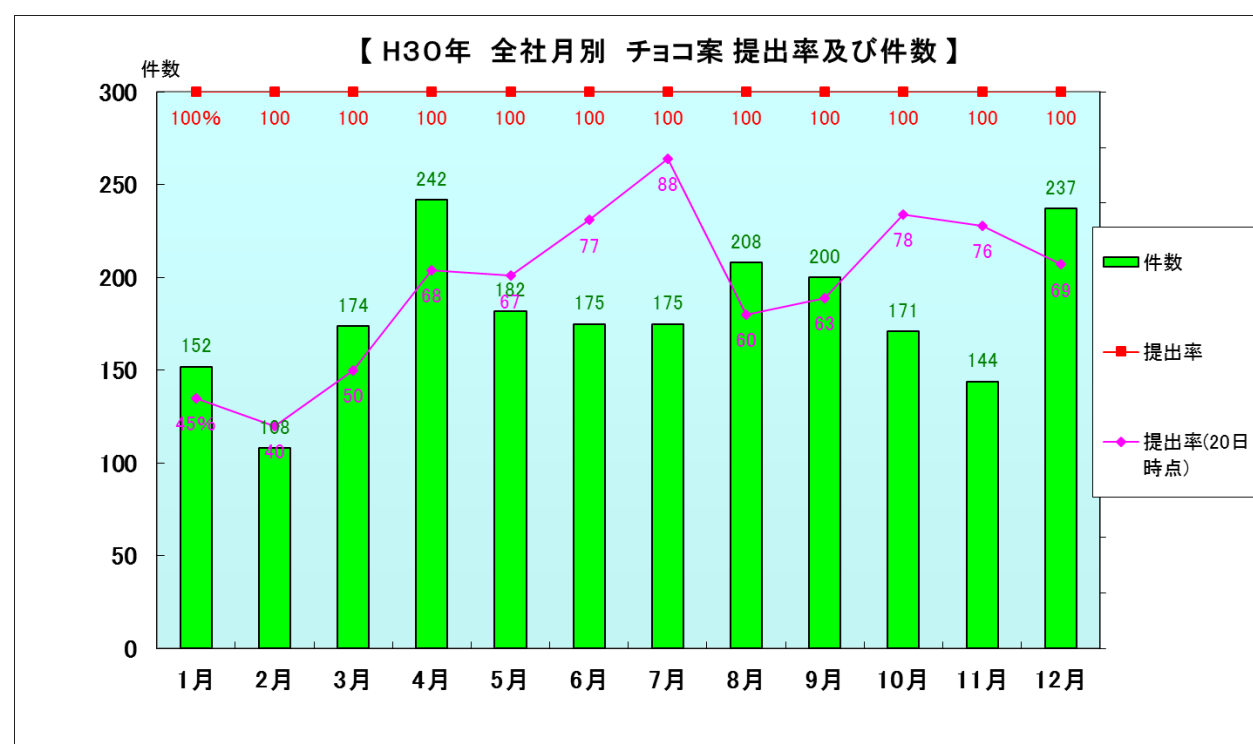
● 取組の評価

2018年度は目標を1,035kg増加しました。(この数値は購入量となります。)車体塗装作業の業務量の増加と考えられます・特化則対応の塗料を使用することで化学物質使用量の削減の取組を継続しています。



◆ 2018年度チョコ案提出率グラフ

【目標】全社員 月/1件以上提出する



2012年1月からチョコ案活動を開始し、2014年以来100%提出率を継続しています。



チョコ案発表会の様子 「各係の代表者が発表」

◆ 地域の環境保全(山形エコアクション21対応項目)

【目標】年2回(5月、10月)会社周辺の清掃活動を実施

2018年年5月と10月に毎年恒例の会社前の国道13号線から山形自動車道の側道付近のゴミ拾いを述べ人数180人が参加しました。ゴミ拾いだけでなく国道沿いの歩道の掃き清掃も行うようにしました。来年も実施します。



◆ 地域貢献活動(交通安全運動期間の立哨)



国道13号線と旧山寺街道に立ち交通安全を願ってます

4.環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	取組の評価と次年度	
			評価	次年度
	■化石燃料の使用			
	1)灯油	* 暖房用:冬期間、事務所の室温を20℃を目安に管理	○	継続
		* 工場内:ジェットヒーターのスイッチをこまめにON／OFF	○	継続
	2)軽油・ガソリン	* 車両日報を準備し、車両ごとの燃費や整備状況を管理	○	継続
		* エコドライブ研修会を実施	○	継続
	■電力使用量			
	1)工場での使用	* コンプレッサー:毎月1回、エア漏れをチェック	○	継続
		* 照明器具:休憩時、無人の場合など、照明清灯	○	継続
		* 電気使用機器全般:効率的な使用、こまめなON／OFF	○	継続
	2)事務所での使用	* 事務所の室温を暖房時20℃、冷房時28℃を目安に管理	○	継続
		* 不要な照明は消すなど、節電を徹底	○	継続
		* PCを省エネモードに設定し、長時間席を離れるときは電源OFF	○	継続
	■廃棄物の排出			
	1)一般廃棄物	* 分別のルールを決め、そのルール遵守	○	継続
	可燃ゴミ・段ボール類 カン・ペットボトル	* 自販機から出たカンやペットボトルは、専用の回収容器に	○	継続
		* 不要なカタログ、資料は原則持ち込み禁止	○	継続
		* マイ水筒運動の展開	○	継続
	2)産業廃棄物	* 産廃業者会社見学会	○	継続
	廃プラ・金属くず・廃油	* 廃棄物の種類ごとに可能な限り、分別を徹底	○	継続
		* マニフェスト管理を徹底	○	継続
		* 産業廃棄物保管場所の5S管理の徹底	○	継続
水の削減	■水道の使用	* 手洗器水栓の吐量の適正化	○	継続
		* 洗車時の節水協力要請	○	継続
化学物質削減関連	■化学物質の使用	* 特化則・PRTR法に対応するアイテムへの転換	○	継続
製品・サービス関連	■バンボデー限定jabiaのゴールドラベル取得	* 車体製品部材のリサイクル可能率95%	取組中	継続
	■チョコ案提出率100%の継続	* 全社員月1件以上のチョコ案の提出を継続	○	継続
山形EA21	■地域の環境保全	* 会社周辺の清掃活動	○	継続

★評価のまとめ

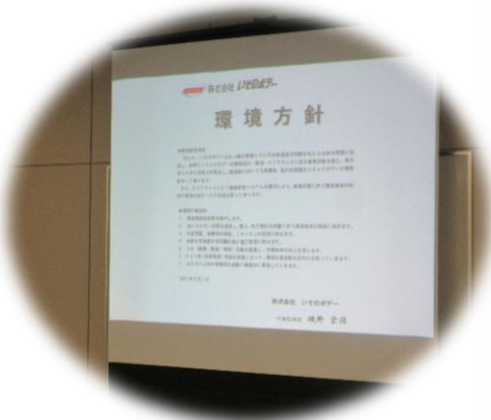
経営と環境一体化の取組の中で、最も大きいのは昨年に続き残業時間の削減が電力使用量の削減につながったと思われます。それはホワイトボードに係内の工程の進捗状況が一目でわかるようにルールを決め、作業が遅れているところに係間を越えて応援作業を行い残業を削減するという取組をはじめました。全員参加型のチョコ案も提出率100%達成を47ヶ月間継続しており、それが各係及び工場全体に現れていることは大きな成果と考えられます。

★次年度への取組

取組の基本的な項目は2018年度以降も継続していきます。

4-1 2018年度取組状況

○ 環境教育訓練記録 (エコアクション21の教育:経営計画発表会) 平成30年1月27日



◆ 地球温暖化に伴い、私たちに身近におきているのが異常気象です。記録的な大雨や台風の上陸、猛暑や冬の厳しい寒さなど、このエコアクション21の取組の重要性を学びました。

内 容 : 環境方針及び目標、計画を全社員へ周知しました。

結 果 : 全社員で環境方針等を共有できました。

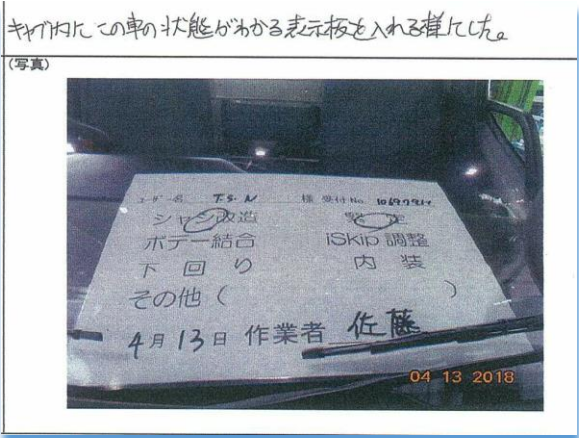
○ 3S活動年間表彰 平成31年1月27日

1年間の3S委員会を中心に活動したなかで、最も優秀であった2部門に優秀賞が授与されました。

■ 総務部 部内全員で行った花の植え付けと「キティルーム」のデザインやレイアウトに携わり、明るい事務所でお客様をお迎えできることを評価されました。



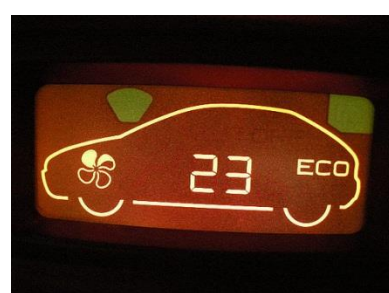
■ バン製作係 作業するトラックの前に黄色の表示板を立ててお客様名を記入していましたが、作業スペースを確保するためにフロントガラス部に表示することにより同じ効果ができるなどで、他にも作業場の確保や作業効率性UP等が評価されました。



○ エコドライブ研修会 平成30年12月7日 (山形県自動車公益センター様)



環境に優しい
エコドライブを
心がけます！

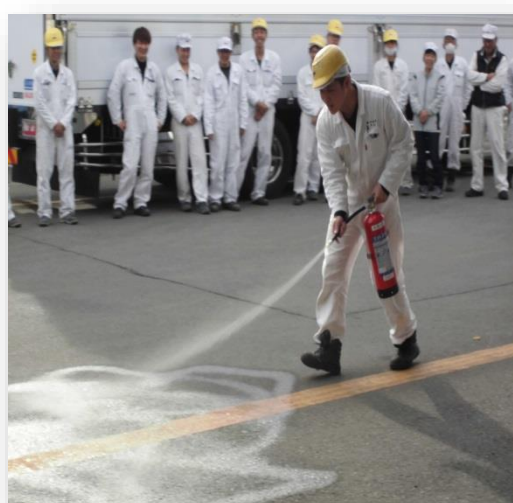


ふんわりアクセル～[eスタート]



- ・ 内 容 : まず、これまで通りに運転して各燃費を出します。
- ・ 次にエコドライブの研修を受けます。その後、再度運転します。
- ・ 結 果 : 研修を受けた後は、ほとんどの人の燃費が向上しました。環境にやさしい運転を身につけることができました。

○ 緊急事態発生への訓練記録 (大地震による火災発生) 平成30年11月9日



内 容 : 全社員に対し、大型地震より火災発生を想定し、早期避難、初期消火活動やAEDの使用方法的の訓練を行いました。

結 果 : 避難経路の確認及び人員点呼や消火器の使用方法的を再確認し緊急事態にそなえました。

5.環境関連法規等の遵守状況、苦情訴訟等の有無

5-1. 該当する環境関連法規等とその遵守状況

当社では、下記の環境関連法規が適用されますが、2016年2月1日付でその遵守状況を確認した結果、問題ありませんでした。

■廃棄物処理法 ■自動車リサイクル法 ■フロン回収破壊法 ■家電リサイクル法
■大気汚染防止法(VOC関係) ■悪臭防止法 ■PRTR法
■水質汚濁防止法(油水分離層) ■浄化槽法
■騒音規制法・振動規制法(山形県生活環境の保全等に関する条例)
■消防法並びに山形市火災予防条例 ■高圧ガス保安法 ■労働安全衛生法(有機則)

5-2. 苦情・訴訟の有無

環境面での訴訟は、創業以来、ありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

5.代表者による見直しの結果

2018年度は、環境経営と健康経営の両方を取り入れながら取り組みを行いました。社内の全照明を2015年にLEDに変更した直後は、相当量の二酸化炭素排出量の削減は当然のことで、翌年2016年度と2018年度と比較しても約11%の削減となりました。全社員参加型の3S活動やチョコ案活動の活発化と3レス(設計レス・スキルレス・シャーシレス)による作業効率UPが結び付き、残業時間の削減により二酸化炭素排出量の削減に貢献できたと考えられます。

また、年2回の会社周辺清掃活動を8年間継続で行い、地域の皆様にもお役に立てるように全社員で取り組んでおります。

次期は、これまでの取り組みを継続するとともに、働き方改革に社を挙げて取り組み、効率的な業務の推進と社員のゆとりの時間の両面を追求することでも、環境に好影響となるよう努めて参ります。



この環境レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡ください。

また、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21jp/>)でもご覧いただけます。

〒990-2226 山形市西越25番地
株式会社 いそのボデー
TEL023-624-1711 FAX023-632-0681